

安全技術

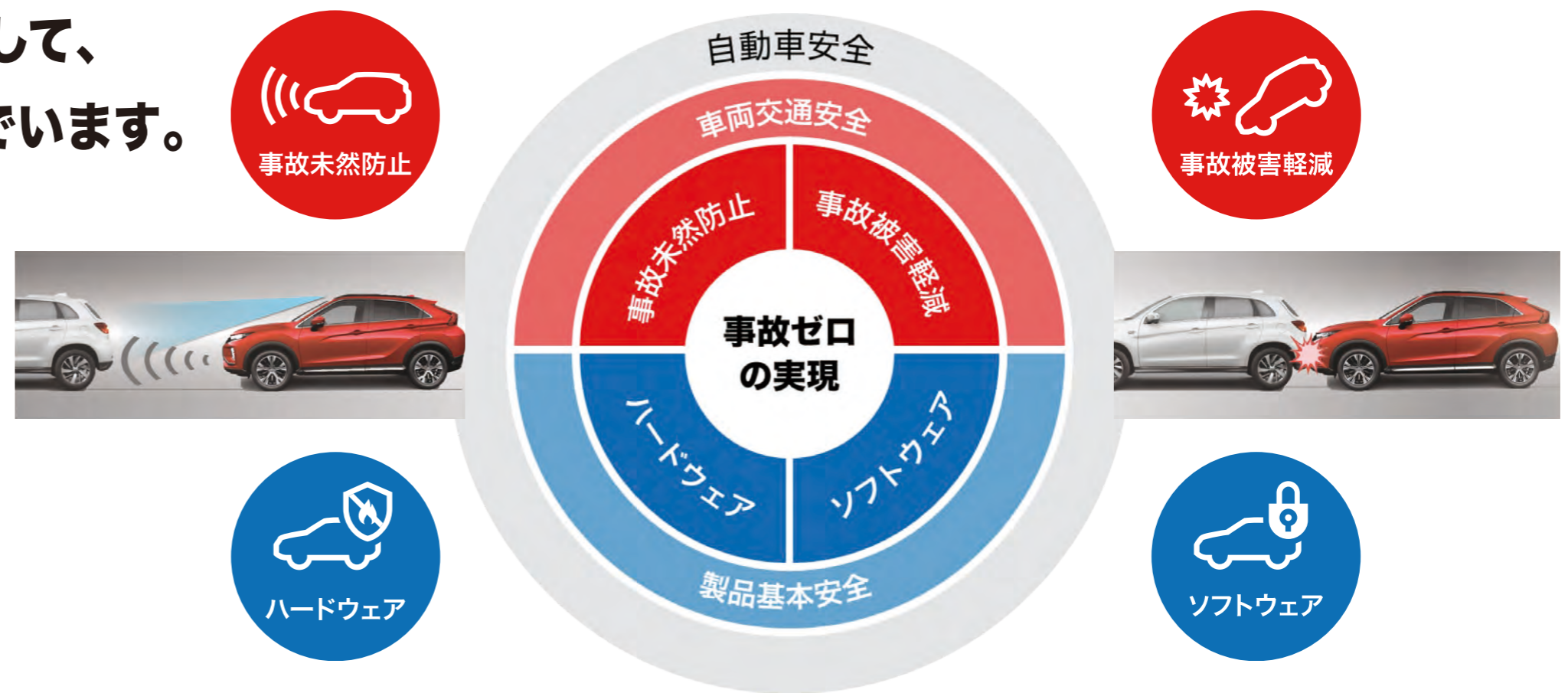


三菱自動車が目指す自動車安全とは

「事故ゼロのクルマ社会」実現に向け、安全技術の考え方として、
自動車安全フレームワークを策定し、製品開発に取り組んでいます。

- ① 交通事故を未然に防止する技術(予防安全)
- ② 交通事故による被害を軽減する技術(衝突安全)
- ③ 工業製品としてハードウェア、ソフトウェア両面から想定される危険の回避(製品基本安全)

様々な安全技術を製品に反映することによって、お客様に、
安全、安心かつ快適な運転をしていただけることを目指しています。



TOPIC

安全技術の進化

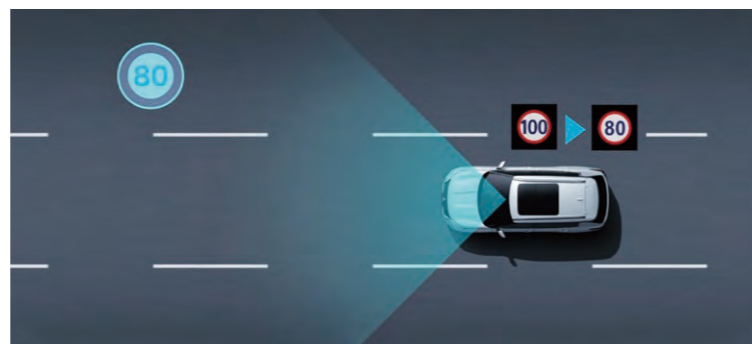
センシングの性能向上、範囲の拡大により、安全支援のシーンを増やしていきます。ドライバーの運転負荷軽減により安全に寄与する、
運転支援機能も拡大していきます。将来はインフラ協調安全支援や回避技術の向上で事故ゼロのクルマ社会を目指しています。

事故ゼロのクルマ社会を目指して進化を続ける技術

三菱 e-Assist

標識認識システム

画像センサーで速度標識、進入禁止標識および一時停止標識を認識
インフォメーション画面とヘッドアップディスプレイに制限速度などを表示。また、ACCと連動して自動で車速を調整する機能も搭載



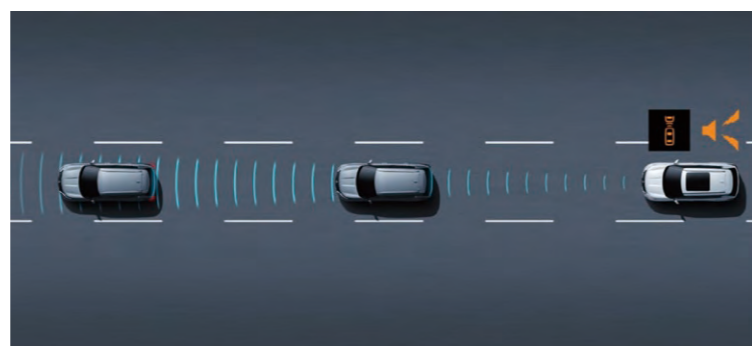
ふらつき警報

ドライバーのステアリング操作から注意力の低下を検知
警報音とともにインフォメーション画面に警告メッセージを表示



前方衝突予測警報

ミリ波レーダーで先行車のさらに前を走る車両を検知し、自車との車間距離・相対速度を監視。
自車の減速が必要と判断した場合に、警報音によるインフォメーション画面に警告を表示



- ・インフラと協調した安全支援
- ・シャシー制御技術向上による緊急回避シーンの拡大



センシング範囲の拡大



- ・センサフュージョンによる検知対象の拡大
- ・MI-PILOT*搭載



検知対象の拡大



FCM*搭載



*FCM = Forward Collision Mitigation system (衝突被害軽減ブレーキシステム)

*MI-PILOT

車線維持支援機能 (LKA)

画像センサーで道路の車線を検知。カーブを含め、車線中央付近を走るようにステアリング操作をサポート



レーダークルーズコントロールシステム (ACC)

ミリ波レーダーで先行車を検知し、自車との車間距離・相対速度を監視。ドライバーがセットした車速を上限に、先行車の加減速に合わせて車間の保持をアシスト

